



主なご質問とご回答

株式会社静岡銀行

〒420-8760 静岡市葵区呉服町1-10
TEL.054-261-3131 FAX.054-344-0131
<http://www.shizuokabank.co.jp/>

平成 29 年 5 月 22 日の 28 年度決算説明会以降いただいた主なご質問とご回答は以下の通りです。

Q1	平成 28 年度は外債評価損の実現など、有価証券運用において大きな変化があった。今後の有価証券の運用方針をどのように考えているのか
A1	・平成 28 年度は、米国大統領選後の長期金利が想定外に早いペースで上昇したことにより、保有していた外債に含み損が発生しました。 ・外債は保有を継続していれば満期償還されましたが、静岡銀行の伝統である健全性維持の観点、ならびに米国金利のさらなる上昇が見込まれる中、運用が逆ザヤになり将来の売却も難しくなると想定されたことから、同時期に価格が上昇していた保有株式の売却を行いつつ、含み損を処理しました。 ・平成 29 年度は投資信託中心の運用になると考えていますが、第 13 次中期経営計画期間中（平成 29～31 年度）には海外の金利情勢を踏まえた外債の運用も含め、都度判断していく方針です。 ・有価証券についてはキャリー収益、キャピタル収益のバランスを考慮し運用していますが、現在の有価証券保有残高はキャリー収益の面では少ないと考えております。今後、市場環境を注視しつつ、有価証券ポートフォリオの再構築を図る方針です。
Q2	決算説明資料には「コアビジネス（地域）」「首都圏」「ネーションワイドマーケット（全国）」の事業領域におけるビジネス展開の記載があるが、このうち、ネーションワイドマーケットへの取り組みはどのような位置づけなのか。
A2	・第 13 次中期経営計画（平成 29～31 年度）では、上記 3 つの事業領域に取り組みますが、静岡銀行はあくまで地域金融機関としてコアビジネス（地域）を中心にビジネス展開をしていく方針です。 ・ただし、コアビジネス（地域）におけるビジネス展開には相応のコストやリスクテイクも必要となります。地域金融機関として地域経済を支えるという使命を持続的に果たしていくためにも、「首都圏」「ネーションワイドマーケット（全国）」で収益を確保していきたいと考えています。
Q3	株主還元方針について
A3	・静岡銀行は株主還元を積極的に行っています。 ・株主配当については、平成 28 年度の配当額は前年度と同様に 1 株当たり 20 円、29 年度についても同様の 20 円を予定しています。 ・加えて、平成 28 年 11 月には 10 百万株の自己株式取得を行いました。 ・この結果、平成 28 年度の株主還元率は 84.60%、第 12 次中期経営計画 3 年間の平均では 55.10%となる予定です。

SHIZU-GIN



主なご質問とご回答

株式会社 静岡銀行

〒420-8760 静岡市葵区呉服町1-10
TEL.054-261-3131 FAX.054-344-0131
<http://www.shizuokabank.co.jp/>

Q4	コーポレートガバナンスコードにおいて、株式の持ち合い解消の必要性が唱えられている。今後の政策投資株式の売却についてどのように考えているか。
A4	・ 静岡銀行はこれまで政策投資株式の持ち合い解消を進めてきました。バーゼル規制におけるダブルギアリング※の対象となる金融機関の株式を減らしていくことはリスクアセットを他へ配賦できるようになるため、自己資本比率の観点からも重要だと考えています。静岡銀行は、今後も継続的に売却を行っていく方針です。 ※ダブルギアリングとは、・・・ 銀行が保有する他の金融機関等の株式・債券等。バーゼル規制においては、一定割合を乗じた額を自己資本から控除することとなっている。

以上

SHIZU-GIN